

## 日本福祉教育専門学校の留学生の現状や取り組み

～どのような留学生が合格できたのか、さまざまな要因から分析～

八子 久美子(日本福祉教育専門学校)

本校では、2016年より留学生10名の受け入れを始めてから8年目となる。年々留学生が増え現在では全学年の75%である91名が在籍している。これまでビザの手続き、生活支援、日本語や退学者への対応などの様々な課題解決に取り組み、現在に至っている。受け入れ国は、ネパール、中国、ベトナム、台湾等多国籍であることと、日本語力もN2ばかりではなく、N3や日本語力不明者の学生も相当数いる現状である。養成校としての役割は、多様性のある留学生に対して、いかに現場で求められる知識や技術、倫理観、態度を身につけた人材を育成することである。

このような状況の中で今年度の国家試験の合格率が、本校では今までで一番良かった。国試問題の難易度や合格ラインの低下の影響は否定できないが、全国平均留学生合格率46.3%に対して本校留学生の合格率は67%である。そこでどのような学生が合格しているのか様々な角度から学科の教員が分析した。その結果、合格率と8月の模擬試験から12月の学力評価試験までの得点伸び率、GPA、日本語レベルとの関係が見えてきた。(本校の分析として報告する)

その他に本校では授業外の活動も大切にしている。毎年「アクティブ福祉in東京」高齢者福祉実践・研究大会やオールジャパンケアコンテスト(AJCC)に学生の参加を促している。留学生が関わった実践・研究会の取り組みと現状を報告する。

※GPA (Grooad Point Average) 成績の平均値

日本福祉教育専門学校 34回、35回国家試験留学生の合格率の推移

国家試験	受験者	合格者	合格率	合格ライン
34回	40人	16人	40.0%	78点
35回	45人	30人	67.0%	75点
35回全国 留学生合格率			46.3%	

現場で求められる介護福祉士の人材育成をめざして

～本校における留学生の現状と取組～

日本福祉教育専門学校

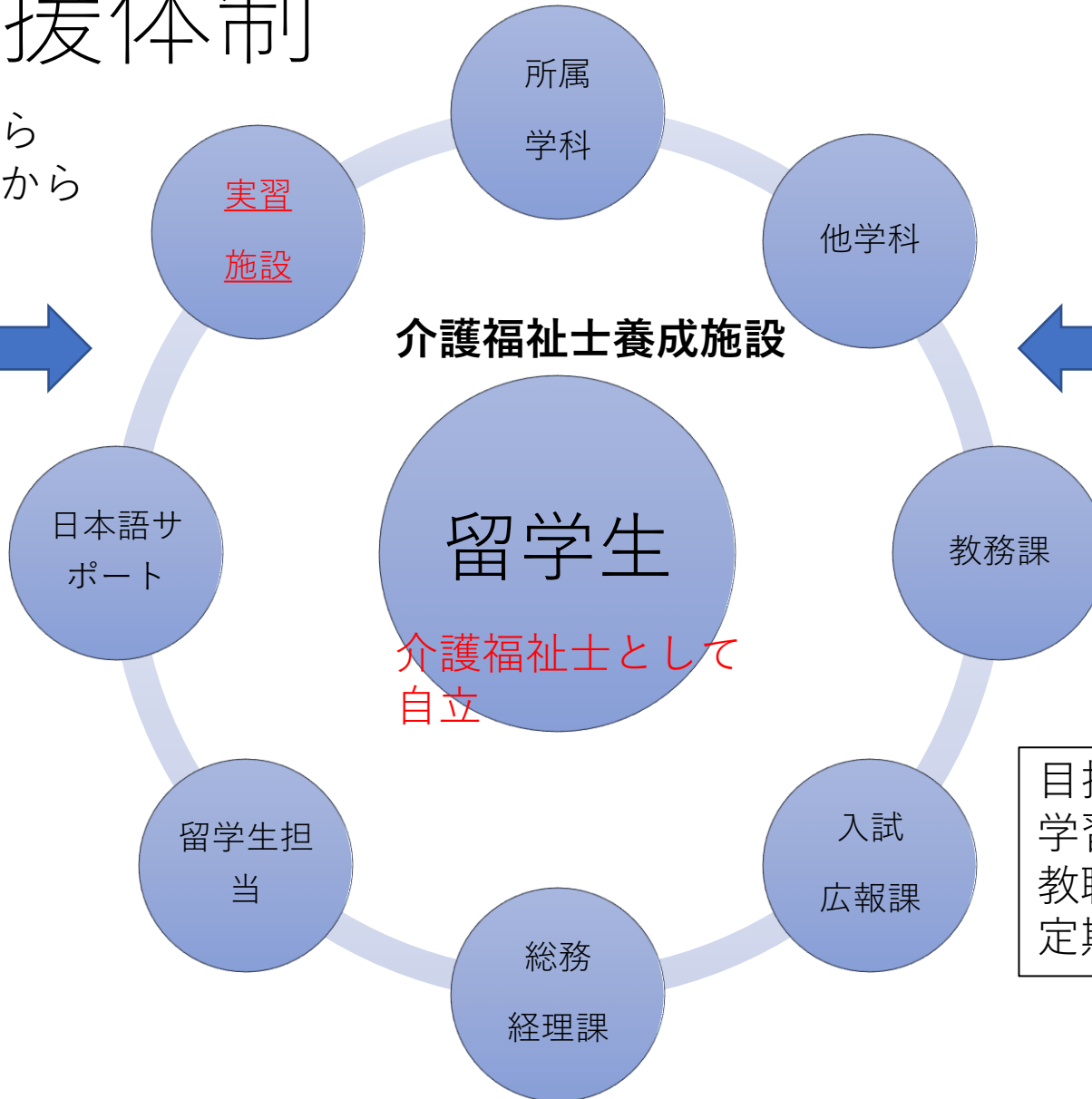
八子 久美子



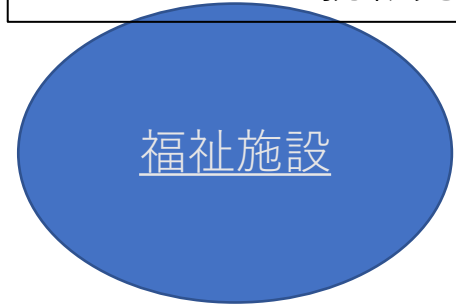
# 留学生支援体制

地域との関係づくり

教育と生活の側面から  
多文化共生その側面から



奨学金、保証人  
アルバイトや就職先



忍耐強く、  
留学生に寄  
り添う

目指すところ  
学習しやすい環境づくり  
教職員の連携体制  
定期的な面談

# 発表内容

## 1 どのような留学生が35回国家試験に合格したのか。

- ・ 対象者：45名留学生
  - ・ 分析項目
    - ①模擬試験
    - ②GPA
    - ③日本語レベル
    - ④国別
    - ⑤その他(出席率等)
- ①～⑤に関して合格者との関連を分析する。

## 2 介護現場での取り組みや実践報告、研究の場への積極的な参加

- ①「アクティブ福祉in東京」高齢者福祉実践・研究大会
- ②オールジャパンケアコンテスト（AJCC）

# 国家試験合格率(日本福祉教育専門学校)

国家試験	受験者	合格者	合格率	合格ライン
34 回	40人	16人	40%	78点
35 回	45人	30人	67%	75点

※35回全国平均留学生合格率：46.3%

# クラス別国家試験合格率

クラス	模擬試験結果(8月) 125点	合格率	
Aクラス	80点以上	100% (6/6人)	自立している層
Bクラス	50~79点	94% (18/19人)	サポートを継続すれば合格率が確実に上がる層
Cクラス			
D クラス	49点以下	30% (6/20人)	数字的には少ないが、本人の努力で合格者が出る層

# ①8月模擬試験⇒12月学力評価試験の得点アップ率との関係

8月模擬試験から 12月学力評価試験までの点差					模擬試験 (8月)	学力評価 (12月)
平均得点差 (アップ)	UP なし	1～10点 UP	11～20点 UP	21～30点 UP		
8点 (全体の平均 得点)	14人	38人	20人	4人	平均 68.4	平均 74.0
合格者数	8人	27人	18人	4人		
合格率	57%	75%	90%	100%		

8月から 12月までに得点を 11～20点以上あげることができると合格率が上がる。



## ②GPAと合格率の関係

**GPA** (Grooad Point Average) 成績の平均値

GPA	合格率	合格率
3.95~3.23	100%	94%
3.22~2.91	89%	
2.90~2.45	83%	63%
2.44~1.27	44%	

GPAが高いほど合格率は上昇している。

### ③ 日本語レベルと合格率の関係

日本語レベル	該当学生数	合格者数		合格率	
N2 以上	27人	N1	7	N1,N2 取得者 85%	全合格者数 30人 77%
		N2	16		
N2 以下	18人	N3	5	N3,不明者 37%	全合格者数 30人 23%
		不明	2		
	合計 45人		合計 30人		

日本語レベルと合格率は比例している。

### ④国別と合格率の関係

国別	ベトナム	中国	内モンゴル	韓国	インドネシア	台湾	日本
受験者	21	13	3	2	5	1	29
合格者数	8	12	3	2	4	1	27
合格率	38%	92%	100%	100%	80%	100%	93%

## ⑤ その他

○出席率と合格率の関係

出席率96～100%者の合格率⇒77%

出席率96～83者の合格率⇒80%

出席率と合格率は比例していなかった。

○JLPT取得時期と合格率との関係

N2を1年次に取得⇒合格率87%

N2を2年次に習得すると⇒合格率50%

JLPT取得時期が早いほど合格率は高まる。

○学生の国家試験に向けての不安と施設の支援体制

生活費はバイト代のみ、実習中はバイトできない、国家試験関連費用が高い、支払いが間に合わない。

→学生自ら施設に休暇や借入を申し出ている(施設によっては受け入れている)

# まとめ

## ①8月模擬試験が一つの目安となる。

B・Cクラス（8月の模試で50～75点）の学生の層が12月の学力評価試験までに11～20点アップさせることでと国家試験合格率をたかめる。

中間層B・C（8月の模試で50～75点）レベル：94%、  
レベルに応じた受験対策が必要 レベル別にすることで留学生の自己の現状を確認できる。教員との面談を通じて自己の受験対策計画を立てられる。  
留学生への励ましと自己肯定感をあげる。

## ②日本語力は合格率と比例していた。

しかしN3、日本語力不明者でも37%の合格者がいる。  
入学してJLPT取得時期が早いほど合格率は高まる。  
入学後の日本語力向上への指導の継続

## ③GPAと合格率は比例していた。

日頃の授業の理解が大切となる。

# 学生の合格決意を強くする理由

- ・ 今後日本で介護の仕事で働き続けたい。  
仕事への魅力(2年間学んでいるので、不安なく仕事ができる)
- ・ 日本に家族を呼んで一緒に暮らす。(既婚者)  
日本で家族と暮らすことを希望(日本は暮らしやすい)
- ・ 次のステップに進むために合格したい。  
介護の経験を積んで、他国で働く。別の資格の取得する。
- ・ 資格手当が2万である。  
経済的魅力

# 課題

## より高い合格率を目指すためには

B・Cレベルの学生層（8月模試で50～79点）を確実に合格させる。  
Dレベルの学生層(8月模試で49点以下)をいかに引き上げていくか。

- ・ GPAを上げる。
- ・ 日本語力を上げる。
- ・ 学習する機会と環境づくり。
- ・ Dレベルの学生が合格に至ったプロセスを明らかにする。
- ・ 個々のモチベーションを高める。(学校と施設の連携)
- ・ 安心して学習できる環境を施設と共有し対策をとる(学習時間の確保・経済的支援)

## 2 介護現場での取り組みや実践、施設全体の研究の場への積極的な参加

### ① 「アクティブ福祉in東京」 高齢者福祉実践・研究大会



#### 参加する意義

- ・ 福祉現場の現状を理解する。
- ・ 留学生の存在を知ってもらう。
- ・ 養成校の介護の基本や技術を現場の人に理解してもらう。
- ・ 研究心や発信力を身に着ける。

### ② オールジャパンケアコンテスト (AJCC)







放課後  
AJCC への投稿動画を作成している。  
今年度のテーマ：食事介助



2023年10月15日AJCC開催



第12回 オールジャパンケアコンテスト



表彰状

動画撮影技芸 特別分野 奨励賞  
学校法人 敬心学園  
日本福祉教育専門学校

あなたは第12回オールジャパンケアコンテスト動画撮影技芸において、優れた介護技術を披露されました

平素の努力と今後の活躍を祈念し、これを賞します

令和4年12月10日

第12回オールジャパンケアコンテスト実行委員会

会長 廣江 研

2022年

# イベント参加終了後の留学生の声

- ・日本人の前で日本語で発表、緊張感があった。
  - ・発表がもっと、うまくなりたいと思った。
  - ・他の学校の発表がすごかった。
  - ・クラスメイトと協力できた。
  - ・自分のクラスメイトが、発表しているのが、うれしかった。
- 
- ・福祉に関するいろいろな分野を学習できた。(介護ロボットに興味があった)

ご清聴ありがとうございました。



地域の祭りに  
ボランティアとして  
参加する学生（日本  
人・留学生）